

事業概要シート

施策 0202 小・中学校教育の充実

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	英語力向上対策事業	現状維持	予算額	56,514 千円
			《 》	54,691 千円
事業期間	平成13年度 ~	財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	56,514 千円

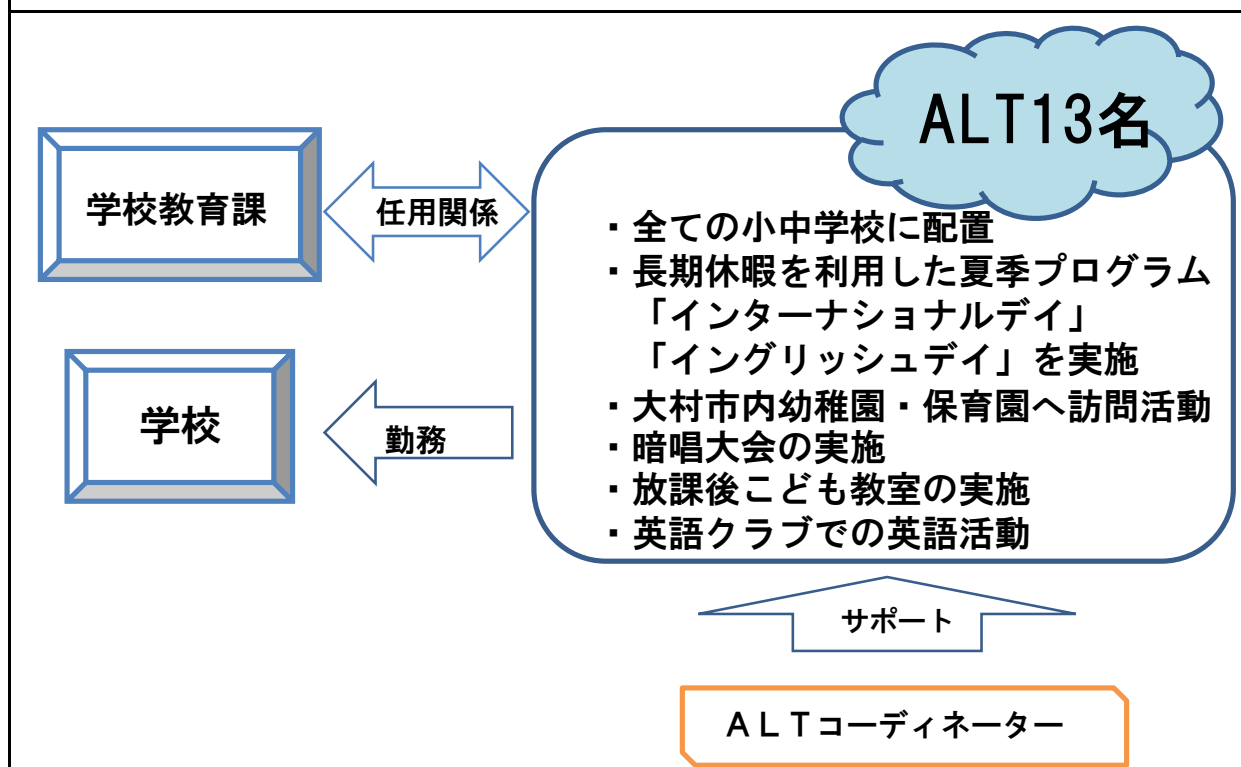
【事業の目的・概要・対象】

○英語力向上対策事業

目的：中学校英語教育における実践的コミュニケーション能力や幼稚園、小学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養い、異文化理解を深めさせる。

概要：13名のALT（英語指導助手）を市内小・中学校や市内の幼稚園・保育園へ配置し、英会話による授業や英語活動を行う。

- 活用：
- (1) 小学校3～6年生外国語活動において、学級担任とチームティーチング（T・T）の実施
 - (2) 中学校全学年の外国語科（英語）にける外国語科教員とのT・Tの実施
 - (3) 基本的にALT一人あたり小・中を含む2～3校を兼務
※任用期間中固定を原則とする。
 - (4) 長季休業中を活用した夏季プログラム「インターナショナルデイ」「イングリッシュデイ」を実施
 - (5) 大村市内幼稚園・保育園等からの要請による訪問活動の実施



【背景】

男性7名、女性6名、計13名のALTを上記のように活用することで、以下のような成果があがっている。小学校では、日常的に外国語に触れることができ、外国語に親しみがわき、臆することなくコミュニケーションが取れるようになったり、ネイティブの発音を耳にすることで、音声やリズムに慣れ親しむことができるようになった。また、中学校では、学んだ外国語を活用して学習内容を確認したりする等、「話すこと」「聞くこと」の機能を身につけることができるようになったり、異文化理解を進めたりできるようになった。また、ALTの業務を円滑にしたり、私生活で困っていること等をALTコーディネーターがサポートしている。

担当課	教育委員会 学校教育課	課長	橋口 智秀
担当者	高柳 智恵	問合せ先	0957-53-411(内線373)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	A L T の年間活用等授業時数の割合	計画値	%	60	60	70	70
②		計画値					

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	A L T の目標管理に対する達成度	計画値	%	90	90	95	95
②		計画値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	63,324	53,537	54,691	56,514	56,514	56,514	341,094
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	63,324	53,537	54,691	56,514	56,514	56,514	341,094
人件費	2,182	2,182	2,182	2,182	2,182	2,182	13,090
職員(人)	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	1.80人
時間外勤務(h)							0h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	65,506	55,719	56,873	58,696	58,696	58,696	354,184

妥当性 (市の関与)	ネイティブ(生)の英語に接することは、児童生徒の英語力向上に大きな効果を与えるとともに、A L T の出身国の生活・文化等について直接学ぶことができる良い機会である。授業やイベント等でA L T と接することにより異文化理解につなげることができる。
有効性 (施策貢献度)	A L T との交流を通して、国際理解教育の充実やコミュニケーション能力の育成が期待できる。学習指導要領の改訂に伴い、小学校の英語教育の充実と中学校の英語力向上に向けて更に効果を高めていきたい。
効率性 (コスト)	A L T の報酬は、国が定めた単価であり適正である。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり